Inter-University Exchange Program toward Medical and Dental Networking in Southeast Asia

Dental Training Program in 2016







March 11 - 19, 2017





1. 概要

研修期間

2017年3月11日(土) ~ 3月19日(日)

研修目的

- ・タイの歯科保健システムや歯科保健状況を理解する(歯科関連施設の見学)
- ・タイの歯科医療について理解する (大学附属病院の見学)
- ・タイの歯学教育について理解する(歯科大学の見学)
- ・タイの歯学部学生や教員との共同作業・交流を通して、英語によるコミュニケーション能力を向上させる
- ・タイの歴史、文化、習慣、言語などを理解する(異文化理解)

上記活動を通して学生の国際理解力を向上させ、将来学生がグローバルな課題に対応できる歯科医療人・国際研究者を目指すための動機付けを行うことが本研修の目的である。

Flight

往路 3月11日(土) TG683 出発 東京(羽田) 10:35

到着 バンコク 15:40

復路 3月18日(土) TG640 出発 バンコク 22:30

到着 東京(成田)翌日6:15

復路は成田着ですので、注意してください。

滞在ホテル

SWUTEL hotel

114 M.L. Pin Malakul Building 16th fl. North-Klongtoey Wattana Bangkok 10110

tel: +66-2-169-1000-2 e-mail: swutel@hotmail.com

http://swutel.net/index.php

Check in time 2pm. Check out time 12am. 無料 Wi-Fi あり

3月11日(1泊) デラックス 2部屋(1部屋にはエクストラベッド)

3月12-18日(7泊) スーペリア2部屋(1部屋にはエクストラベッド)

宿泊料:スーペリアルーム 1,700 Baht/room/night (約5,500円)

デラックスルーム 2,310 Baht/room/night (約7,486円)

エクストラベッド 900 Baht/person/night (約 2,917 円)

アクセス:スワンナプーム空港からエアボート・レイル・リンクで Makasan 駅下車、徒歩約 10 分です。



参加学生

歯学科 5 名

No	名前	性別	事務処理番号	学籍番号	分野名 ・学年
1	スナノ ヒロミ 砂野 博美	F	1427	31130282	歯学科 4 年
2	ハカリヤ マサヒロ 秤屋 雅弘	М	1442	31130441	歯学科 4 年
3	カスガ ユカ 春日 柚香	F	1412	31130122	歯学科 4 年
4	ョシダ スミコ 吉田 澄子	F	1449	31130532	歯学科 4 年
5	^{ワタナベ} ジュンヤ 渡部 準 也	М	1649	31150521	歯学科 2 年

2. スケジュール (tentative)

TMDU Students: Ms. Hiromi SUNANO (D4), Mr. Masahiro HAKARIYA(D4),

Ms. Yuka KASUGA (D4), Ms. Sumiko YOSHIDA (D4)

Mr. Junya WATANABE (D2)

Period: From 11th March to 19th March, 2017

	Morning	Afternoon			
Sat 11 th March:		15:40 Arrive in Bangkok by			
		TG683/ Picked up by SWU			
		students*/ Check in SWUtel/			
		Dinner with SWU students*			
C toll III I	D 11.				
Sun 12 th March:	Bangkok tour with SWU students*				
	6.00 am Meet at Starbucks SWUtel				
	(The folding umbrella Market and Amphawa market, Samut Songkhram)				
Mon 13 ^h March:	10.30 am Meet at SWUtel	Lecture: Thai Dental Education			
	SWU campus tour	and Public Health System			
	(Nirada & Nathawut)	(Nirada & Nathawut)			
	11.00 Condolence book signing for His				
	Majesty King Bhumibol Adulyadej				
	12.00 Lunch at 13 th floor with Faculty staffs				
Tue 14 th March:	8-10 am SWU open market	Preparation for English			
		Presentation class: Studying			
	10.00 am Visit Department of Oral	Dentistry in TMDU: dental			
	Surgery and Oral Medicine (DSM)	students' lives			
	(Sorasun)				
	12.00 Lunch with DSM staffs				
Wed 15 th	10.00 am Visit Department of	Attend special lecture "English			
March:	Conservative Dentistry and	Academic Writing"			
	Prosthodontics (DCD)	by Dr.Alfredo Villarroel			
	(Jaruma)				

	12.00 pm Lunch with DCD			
Thurs $16^{ m th}$	8-9 Attend English for Dentistry class	Attend Thai dance class with		
March:	with 5 th year SWU students (Give	dental assistant students		
	presentation: Studying Dentistry in	(Paramaporn)		
	TMDU: dental students' lives)			
	(Nirada)			
	9-12: Visit Asoke Montri Dental Clinic			
	12.00 Lunch with Dr.Ron			
Fri 17 th March:	8-9 Attend English for Dentistry	Free time		
	class with 4th year SWU students			
	(Give presentation: Studying			
	Dentistry in TMDU: dental students'			
	lives)			
	(Nirada)			
	10-12 SWU museum and Central			
	library tour			
	(Nathawut)			
Sat 18th March:	Bangkok tour with SWU students			
	22.30 Depart for JP			

Contact person:

Assoc.Prof.Dr.Nirada Dhanesuan

Mobile 089-1121513 E-mail: Niradamam@gmail.com

Assist.Prof Nathawut Kaewsutha

Mobile 085-1638780 E-mail: ballswu@gmail.com

SWU students*: Mew1 (087-799-2661), Mew2, Dew, Chat, Time and Aor

3. 学生によるレポート Student Reports (Japanese)

□ 渡部準也(D2)

この度、本プログラムを利用して、初めて海外大学での研修に参加した。今回のタイ研修 プログラムに参加して特に成果だと思うものを三点、報告する。

一つ目に、海外大学の雰囲気を知ることができ、今後の海外留学の参考となった。今までに海外に在住していたことや海外旅行の経験はあったが、海外大学で学んだ経験は無く、海外で学ぶことに対して漠然と不安を抱いていた。実際に約一週間、海外大学での授業、異なった気候での生活を体験したことで、今後の海外での学習に取り組んでいける自信になった。言語面に関しても、到着して数日で現地のなまりのある英語を聞き取れるようになり、英語でのコミュニケーションも慣れることができた。ひとまず、現在の自分の英語でもコミュニケーションをとることができると感じられて良かった。また、英語をこれからも向上させていく意欲にもつながった。

将来、研究や臨床で機会があれば是非、数か月間といった長期間、海外で学んでみたいと考えている。

二つ目に、歯科臨床科目に対する興味と学習意欲が上がった。私は 2 年生での参加であったため、歯科の専門知識はほとんど無かった。同行した上級生が現地の歯科医療について日本と比較して考察したり、専門的な内容を質問したりするのを見ながら、自分も早く歯科臨床を理解できるようになりたいと思った。また、卒業後に臨床家としての進路は、日本国内で病院や開業をするだけでなく、海外で現地特有の口腔疾患に関わるといった、進路に関してのイメージの幅が広がった。

三つ目に、タイの文化や習慣を実際に体験して学ぶことができた。タイの文化に関して特に印象に残ったのが、王室への尊敬と日本文化の浸透である。今回の訪問では、前国王(ラマ9世)の喪の期間であった。空港の入国審査の電子公告に始まり、大学の中、ショッピングモールの中など、町のいたるところに前国王の写真が飾られていた。またタイ語での数字の9をかたどったブローチを服に付けた人を多く見かけた。王室への尊敬がとても強いことがよく分かった。また日本文化に関しては、大学の付近に無数の日本料理店があり、また屋台でも寿司が売られていた。スーパーでは日本直輸入の食材が見られた。また、トーキョーという、クレープの生地にソーセージや卵を乗せて、巻いた軽食が売られていた。もちろん、これは東京では見たことはない軽食であり、どうやらタイの人の日本好きが高じて付けられたネーミングのようであった。

タイの人が王室を尊敬していることや日本文化好きであるということは事前に情報として知っていたが、実際に目にして初めて、そのレベルを知ることができた。異なる文化を持つ人々は、何を大切に思うか、重要視するかといった価値観が異なるといえると思う。一つ

の事柄に対して異なった見方をするからこそ、協力することで今までにないアイデアが生まれると思う。一方で、その価値観を理解せず、価値視するものを軽視してしまうと不信感が生じる。日本人にとっての「それくらい、いいじゃないか」は、他文化の人にとっては「絶対に許されない」かもしれない。そういった面で、実際に現地に赴き、価値観を自分の目で見て知ることの大切を改めて感じた。

砂野博美 (D4)

羽田空港からタイに行き、ホテルの最寄り駅まで行きました。シーナカリンの学生が迎えに来てくれて、荷物などを運ぶ手配をしてくれていました。翌日にはレイルウェイマーケットとフローティングマーケットに行き、見学をしました。

月曜日からキャンパスツアーが始まり、先生や学生が私たちを案内してくれました。大学の 創立の歴史やキャンパスの増築のこと、歯学科の歴史についても教えていただきました。学 長さんが、医科歯科の卒業生という話を聞き、本当におどろきました。それ以降の2日間は 歯学部病院内を科ごとにまわる形で見学をさせていただきました。口腔外科には患者さん がたくさんいて、5年生が完全水平埋伏智歯の抜歯をしているところを見学させていただ きました。歯内治療、歯周病治療と技工室の見学は時間の関係上あまりしっかりとできませ んでしたが、技工室では学生の作品が見られて興味深かったです。木曜日には大学内に併設 されているクリニックに見学に行きました。歯学部病院は医科歯科の歯学部病院と似たよ うな雰囲気がありましたが、こちらのクリニックはインプラントなどの治療も行っている こともあり、設備などが整っている印象をうけました。実際にくる方は現地の人の中でも富 裕層や、タイ在住の外国人が来るそうで、パンフレットなどもタイ語ではなく英語のみのも のもありました。

授業としては、英語での論文の書きかたについてのレクチャーがありました。論文を書くときに大事なことも含まれていましたし、英語の文法的な注意点なども教えていただき、為になりました。英語を二か国語目として使用しているのはタイも日本も同じですが、医科歯科ではこういう実践的な内容のことを英語で学ぶ授業はない気がするので、新鮮でした。日本語にはない発音が英語にはあるために日本人にとって英語は難しい言語だと言われることもありますが、タイ語にある発音が英語にはないためにタイの人にとっても難しいという話を聞いて、親近感を覚えました。

タイに留学中、学生に向けて医科歯科のことをプレゼンする機会が二度ありました。5年 生と4年生に向けてだったのですが、授業や実習に忙しそうですが合間をぬって交流する 時間を作っていただいたことがうれしかったです。

放課後はシーナカリンの学生がタイ料理のお店を案内してくれました。タイに行くまでは タイ料理は食べたことがなくとても辛いということしか知りませんでしたが、日本人好み の味付けで、帰国するころにはタイ料理が大好きになっていました。ただ香辛料の刺激が強 すぎて胃腸はかなり弱ってしまいました。放課後に毎日学生が町を案内してくれたおかげ で、東南アジアの雰囲気も楽しめてよかったです。

タイはこれが初めてでしたが、とても充実した9日間を送ることができました。参加してよかったと心から思います。

春日 柚香(D4)

シーナカリンウィロート大学との大学間交流プログラムに参加した9日間は、こんなにも時間は早く過ぎ去るのかと思うほど充実した日々でした。毎日何かしらの新しい学びがあり、多くのことを経験することができました。歯学科分野の研修としては、タイの歯科医療についての講義や、英語の授業への参加、大学施設や実習室の見学をしました。また、大学の歯科病院では、学生の診療室、口腔外科、保存科、補綴科を訪れました。また異文化体験としては、休日に水上マーケットや寺院を訪れたり、放課後にショッピングモールやレディボーイショーを楽しんだりしました。歯科研修を通じて特に印象に残ったことを2つ報告したいと思います。

まず、大学のカリキュラムについてです。タイの歯学科は日本と同様に6年間のカリキュラムですが、各学年で学ぶことは東京医科歯科大学と異なっていました。特に衝撃を受けたのは、臨床実習を始める時期の早さです。東京医科歯科大学では5年生の10月からの約1年間であるのに対し、タイでは4年生から6年生までの3年間あります。4年生では根管治療や修復治療、歯周治療、矯正治療、単純抜歯など、基本的な歯科治療を患者さんに行います。ケース数が決められており、それをクリアしなければならないそうです。この条件は5年生でも同じです。5年生では、4年生で学んだ治療よりも発展的なものとなり、複雑な部分床義歯や全部床義歯、外科治療を伴う埋伏歯の抜歯などより高度な治療を患者さんに行います。タイの学生にとっては、この5年生での実習が6年間の中で最も大変だそうです。6年生になると、自分の担当患者を持ち、その患者さんに対する治療をすべて行うことになります。これは東京医科歯科大学が行っている臨床実習とよく似ていると思いました。日本では私立大学をはじめ、国家試験に重点を置いており、学生のうちから積極的に臨床実習を行う学校は少ないですが、逆にタイでは臨床実習に重きを置いており、卒業後即戦力として働ける歯科医師の育成に力を入れていると感じました。これは次に述べる項目とも関連していると思います。

次に述べるのは、タイの歯科医師の状況についてです。タイでは都市部と地方において 歯科医療の充実度に格差ができてしまっています。都市部では、日本と同じように最先端 の歯科医療を受診することが可能ですが、地方では歯科医師数も不足しており、生まれた から一度も歯科医院に行ったことがない人も少なくはないそうです。この格差を少しでも なくすために、タイでは歯科医師になってから3年間は地方で働くことになっているそう です。条件を満たせば、免除されるそうですが、基本的に全ての歯学科卒業生が対象とな ります。また、シーナカリンウィロート大学もこの格差を埋めるための活動として、大学 職員が地方を訪れ歯科治療を行っており、学生を対象にした地方での歯科治療見学も行っ ているそうです。タイの学生と話していても、地域における医療の格差について問題視し ており、将来自分がどこで、何をしたいかを具体的に考えている人も多く、志の高さを感 じました。

今回のタイでの研修を通じて、英語の重要性を再認識しました。異なる言語を母国語として持つもの同士がコミュニケーションをとるときに、英語という共通言語があることの素晴らしさを実感しました。今まで自分の英語に自信が持てず、つい消極的になってしまっていました。しかし、会話に必要なのは言語力のみではなく、手振り身振りして説明をすることや、お互いのいうことを注意深く聞き理解しようと努めることもだと感じました。むしろどんどん積極的に話すことで、相手の話し方に慣れたり、緊張しなくなったりすると思いました。今後も、英語能力が向上するように努力していきたいと思います。最後に、このような素晴らしい機会を与えてくださり、支援してくださった皆様に感謝申し上げます。

吉田澄子(D4)

シーナカリンウィロート大学歯学部にて、歯学部の授業への参加、附属病院での臨床実習の見学、歯科医院の見学を行った。歯学部での授業では、タイの歯科事情、保険制度、歯学の教育制度など、歯科に関することから、タイの文化芸能についても学ぶことができた。歯科についてはそれぞれの国での課題や、それぞれの良い点などを発見することができ、非常に良い学びを得られた。臨床実習の見学では、日本よりも早期から組まれている臨床実習のプログラムについて深く知ることができ、さらに、臨床を間近で見学した。設備などについては日本より不十分な点も見受けられたが、学生たちが非常に勉強熱心で、学生が学年を超えて相互に学ぶ姿勢が印象的であった。

特筆すべき成果としては、タイの歯科事情について、また社会の現状についての理解を深めることができたことである。タイは日本と比較して経済格差が大きく、それが医療体制にも如実に表れていることが分かった。例えば、国立大学の歯科学生は卒業後2年間地域で働く義務があり、農村部における医療に貢献しなければならない。これは学生にとっても利点がある制度で、多くの症例で経験を積むことができ、都市部と比べて患者とのトラブルが起きることが少ないという。日本でも医療の地域格差が問題となっているが、それを解決する具体的な政策はタイと比べて乏しいのではないだろうか。また、学生の間にも農村部における研修が多く組み込まれており、それを通して農村部の人々の生活や価値観について理解を深める。裏を返せば、それほど学生(多くが富裕層の出身と思われる)と農村部の人々との間には、大きな違いがあるということである。また、universal healthcare coverage の仕組みが最近つくられ、それがどう変化していくが注目されると感じた。

この研修では、文化や国民性が医療にどう影響を与えるかについて考察したいと考えて

いた。実際に現地を訪れたことで、タイのまわりの人を尊敬する文化を肌で感じ、それが患者と医療者の関係性の母体になっているように感じた。また、歯学部には女性の先生方が多く、性別によらない関係性が築かれていた。また、タイの学生とコミュニケーションをとり、彼らの生活やキャリアプランについてなど深く知ることを目標にしていた。仲良くなった学生たちが女性ばかりだったが、彼女たちが意欲的に取り組む姿からは非常に勇気をもらった。日本にいる間に感じていた、なんとなくの生きづらさから解放されたようで、周囲を気にせずにやりたいことをするモチベーションがあがった。国を超えて、同じ分野で頑張る仲間ができるということはとても素晴らしいことで、この関係性を絶やさずにお互い精進していけたらいいと思う。さらに、タイではメディカルツーリズムが発展してきており、歯科医療もメディカルツーリズムに参入することについての話が興味深かった。地の利や、文化的背景、南部のリゾートとセットにしたマーケティング戦略が立てられつつあるようである。日本では歯科のメディカルツーリズムはあまり聞いたことがなかったが、歯科臨床のレベルを鑑みると参入可能などではないかと感じた。

週末には大学の学生たちとともに、寺院などの歴史的建造物の見学し、古くからの生活様式が見られる水上マーケットを訪れ、タイの文化についての理解を深めた。彼女たちは非常に寺院などの歴史や文化、逸話について詳しく、丁寧な解説をしてくれた。自分自身のことについて考えると、日本の文化についてそれほど詳細に語ることができないことに気づき、歴史的なことだけでなく、現代の日本社会の状況についても自分の考えを語れるようになりたいと感じた。プミポン国王の逝去を受けて、町中にモニュメントがあり、タイ王室が国民から慕われていることがうかがえた。しかし、友人それぞれに話を聞いてみると、王家への感情は人それぞれであることも分かった。

秤屋 雅弘 (D4)

今回の海外派遣が私にとって二度目の海外研修でした。去年の時点では本格的な英語学習歴は半年という状態で参加させていただきましたが、今年は一年半英語学習を継続して行った状態で参加しました。十月の国際交流イベントや BRIDgE コースなど様々な経験と学習の結果、一年前に比べて大きく英語力の進歩を感じることが出来ました。自分の中で課題としていたリスニング力は特に向上させることができ、研修中もほとんど聞き取りに関して困ることはありませんでした。今回の派遣で確実なものとなってきたこの英語力の基礎を手放すことのないように、今後も継続的に英語学習を続けていきたいです。

また、英語力の向上のお陰で先生方の説明や講義の理解度がかなり増したことで、今回はとても多くのタイに関する情報を得ることが出来ました。歯科に関することでは、医科歯科病院は高齢者の患者が多いのと比較してシーナカリンウィロート大学(SWU)の大学病院では小児の患者をはじめ若年層の患者が多かったように感じました。一番多く治療をする患者さんの世代が日本と異なることで、今後専門性という点に関して日本よりも強みとなる科が登場してくる可能性があります。

他にも興味深かったことは、タイの公衆衛生に関することでした。タイの人口ピラミッドを見てみると昔の日本を惹起させるような少子高齢化の始まりを見ることができます。このペースで少子高齢化が進んでしまうと、現在の日本のような問題をタイも抱えていってしまうでしょう。さらにバンコク等の市街地の急速な発展に伴い、大気汚染問題も深刻化してくる可能性が大いにあります。様々な観点から昔の日本を思い出させるような状況にあると感じました。高齢化以外にも喫煙や飲酒等の規制に関する問題も増えつつあると伺いました。タイでは日本よりも喫煙や飲酒に関する規制が厳しく、基本的にどこの施設でも禁煙であったり、お酒の販売時間が規制されているなど日本よりも厳しい法制度が敷かれています。海外アニメや映画をテレビで放送する場合はたばこ等のシーンにモザイクがかけられているほどです。しかし、インターネットの普及に伴い、テレビでは規制されている喫煙や飲酒に関する情報を若い世代の人たちが簡単に入手できるような社会へと変化してきました。現行の法規制ではどうにもならない問題が増加してきてしまっているそうです。SWU は大学のプロジェクトの一つとして、「喫煙を誰かに進められた時に自分の意志でしっかり断る意識をつける」ためのプロモーションを積極的に行っていました。大学がそういったプロモーションを率先して行っていることはとても勉強になりました。

タイには国立大学の歯学部が多いため、国に歯科医師育成を援助してもらったことを卒後三年の歯科医師不足な地域での勤務によって国家に貢献するというシステムがあります。このシステムは日本でも取り入れても良いシステムだと感じました。このように、外国の文化や歯学教育や社会のシステムを知ることが出来たおかげで自分の住んでいる日本という環境と比較することができ、今までよりもさらに知識や認識の幅が広がりました。今回の研修で、英語力の向上をはじめ日本の現状の認識の拡大など、今後の歯科医師人生にさらなる実りをもたらしてくれるような経験をすることが出来ました。この経験を忘れることなく、またこの経験を今後の生活に活かすことが重要であり必要不可欠です。自分の可能性を広げるような知識や経験を得たと考えております。このような機会を与えてくださり、関係した先生方に感謝しております。どうもありがとうございました。

Student Reports (English)

Junya Watanabe (D2)

It was my first time to attend dental externship program and studying abroad. I report three significant achievements from this program.

Firstly, I knew what it is like to study in a foreign university, and I can feel at ease to studying abroad. Although, I have lived in Shanghai, China for a long time and I have been to abroad several times, I had never studied in universities in oversea. I vaguely felt unease before. I took classes and lived about one week in different climate and style compare with Japan. These experiences made me confident to study oversea and live there. When it comes to my English skills, I was used to hearing Thai-English and keeping conversation in English in few days. My current English skill is not well enough but I felt confident because I could communicate in English.

If I have a chance in near future, I am looking forward to study in foreign universities for research or clinical training.

Secondly, I have interested in dental subjects more than before. I was a second-year student and I had little dental knowledge. On the other hand, senior students who attended this program had dental knowledge and compared Thai dental care system between Japanese one, and asked advanced dental questions. I felt respect to them and I made up my mind to study dental subjects hard.

My image of becoming a clinician was working for dental department in hospital or clinic in Japan, before. Now, I can imagine work in oversea and deal with oral disease in the area. For example, oral cancer is more common in Asian countries than Japan. If I will be an oral pathologist, I can work not only for Japanese patients but also for Asian.

Thirdly, I saw and experienced Thai culture by my own eyes. Two things which made deep impression to me were respect to Thai Royal family and enthusiasm in Japanese culture. last Thai king (King Rama 9) died last year and Thai people are in mourning, now. Pictures of the king were everywhere in the city, such as advertisement in airport, university and shopping mall. A lot of Thai people are wearing brooch which designed from 9 for the purpose to pay respect to the king. I felt the depth of respect. When it comes to Japanese culture, there are a lot of Japanese style restaurant. I saw sushi at stands, and foods imported from Japan in supermarkets. There was a snack called "Tokyo," baked crape with sausage and eggs. As we know, it is not snacks comes from

Tokyo, Japan. It seems that it shows how Thai people love Japanese culture. I had known information about these things before. However, seeing by own eyes gave me a lot of information than prior knowledge.

People who have different culture and belief have different sense of value. If I do not know their sense of value and think lightly of them, it will cause distrust. "It does not matter." for Japanese might be "It is unacceptable." for people with other culture. I believe that visiting a place and see and feel sense of value by own eye is important.

Sunano Hiromi (D4)

Before starting observation in SWU, we visited Railway Market and Floating Market on Sunday. SWU's Students were so kind and guided us. Railway Market is a fresh market, so we didn't buy anything just in case we had stomachaches, but we enjoyed shopping at Floating Market. Around the Floating Market, there are some famous temples along the river. We took boats to cross the river and hanged around those temples. I was surprised that students used to commute by boat just few decades ago.

Our campus tour begun from Monday. Teachers told us stories of the foundation of SWU and how that campus's been made large. I was so surprised that the president of dental faculty studied and graduated from TMDU. After the campus tour, we were guided in the dental faculty building. There were many patients in the oral surgery room. We watched tooth extract operation performed by 5year students. We didn't have enough time to see endodontics and periodontics treatment room and dental laboratory well, but we were interested in student's works at dental laboratory. On Thursday, we visited a clinic in that campus. Patients can have high level treatment at the clinic compared to the dental faculty hospital. Equipment looked greater than that in dental faculty hospital. They said rich Thai people and foreign people who are living in Thai came to the clinic to see dentists.

In addition, we had a lecture about how to write research papers in English. The teacher told us important points to make our papers better and also common mistakes in English grammar. I learned a lot from the lecture. Both Thai and Japanese use English as a second language, but we don't have practical lessons in English. I wished I would have such a useful lectures in English in Japan.

During the stay in Thailand, we were given 2 opportunities to have presentation to 4th and 5th year SWU students. They seemed very busy for their practical and clinical practices, so I was glad that they made time for our communication. After classes, some

students saw us around Bangkok and we ate so many kinds of Thai foods. I had never tried Thai food before I've been Thailand and severe hotness is the only thing I knew about Thai food. However, I've came to love the cuisine. I ate too much spicy food so my digestive organs were painful sometimes. SWU students showed us around the city every day so I can enjoy the atmosphere in south-east Asia.

This was my first time visiting Thailand, but I enjoyed a lot during the stay. I really glad to be able to join this program.

Yuka Kasuga (D4)

Time flies so fast! I felt it strongly for 9 days that I participated in the exchange program between Tokyo Medical and Dental University (TMDU) and Srinakharinwirot University (SWU). I spent very complete days in Thailand and learned something new every day. As the program of dental term, I took a lecture about Thai dental education and public health system, participated in English classes (with 4th or 5th year students in SWU), and looked around the university facilities, Asoke Montri Dental Clinic and dental hospital in the university. In the hospital, I visited department of oral surgery, oral medicine, conservative dentistry, prosthodontics and students' clinic. As culture experiences, I visited flouting market and traditional shrines (such as Wat Pho, Wat Phra Kaew, Wat Arun and so on) on the weekend, and enjoyed shopping in large molls, watching lady-boys show and trip somewhere in Bangkok after school. I cannot write everything that I want to talk, then I report 2 points that the most impress things for me in the dental program.

First point is about dental students' curriculums in SWU. In Thailand, dental students must go to University for 6 years as same as in Japan. But classes in each glade are different from TMDU. The biggest different point is when they start clinical training. In TMDU, it is put on from 5th to 6th year for one year. On the other hand, in SWU, it is put on from 4th to 6th year for 3 years. In 4th year, students treat patients in clinic of endodontics, conservative dentistry, periodontics, prosthodontics and oral surgery. These treatments are basic and simple. Students must complete certain cases that number is decided. In 5th year, level of treatment is developed. For example, students treat patients who need complicated partial denture, full denture, and extraction of impacted tooth. SWU dental students said that 5th year is the hardest term for them. In 6th year, comprehensive treatment start, and one student treats one patients. It's similar with clinical training in TMDU. In Japan, many dental universities especially private schools focus on how students pass the national examination, and the number of universities

who emphasize on clinical training is limited. But in Thailand, they focus on clinical training, and they want to bring up students who can start working as a dentist right after graduation. It is related to next point.

Second point is about current situation of dentists in Thailand. There is a big gap of dental treatment between city and country. In a city, citizens can get advanced dental treatment like in Japan, and the number of dentists is enough. But in a town, the number of dental clinic and dentists are limited, and it is not rare case that a citizen has never seen a dentist. In order to reduce this gap, Thailand government decided that dentists work at local area for 3 years after their graduation. If they don't want to go, they must satisfy the requirements. SWU is making effort to provide dental treatment for citizens in local area. For example, dentists who are working in SWU dental hospital visit a local area, and treat citizens by using dental chairs and instruments that are brought from SWU. Moreover, students go community to do preventive dentistry in 6th year. They are understanding this gap problem, and considering what they want to do as a dentist in the future. They have high motivation to study hard.

Through this exchange program, I again recognized the importance of English as common language. It is necessary for us to communicate with a person who has a difference mother language. Before I participated in the program, I felt my English ability was not good. Then I was nervous to speak English, and had negative thinking about it. However, I changed my mind through the program. I think what I need to make communication is not only good English ability, but also using body language and making effort to understand each other. By talking positively to Thailand students and teachers, I got used to conversation in English, and became less nervous to talk. I intend to continue my efforts to improve my English ability.

At the end, I want to say thank you for everyone who gave me the opportunity to participate in this program.

Sumiko Yoshida (D4)

In this program, there were various activities we joined in: the Srinakarinwirot university hospital observation, attending lecture about English academic writing and dentistry in Thailand, introducing about the university and student life to each other, and experiencing traditional Thai cultures. Here, I would like to introduce inspiring experiences I had in Thailand.

First of all, there were many things to learn from dentistry in Thailand.

As for the education system to be a dentist, the government set a system to reduce the

disparity between urban and rural area. If students graduated from a public university, they have a duty to work in rural are for two years. Otherwise, they need to pay to make it up. Thanks to its system, both students and local community would get benefit. For local community, they can cover the lack of healthcare workers for some extent. Also, they started national board examination and relicense system to keep dentists in a decent quality. Every dentists need to update their license every five years by acquiring points through attending lectures and workshops. I felt that it is effective to bottom-up the quality of dental treatments. For students, they can experience more cases because local people are likely to be open-minded, trust dentists and give them opportunity to try new procedures. Regarding to the education for undergraduate student, its program is for six years, which is the same as that of Japan. However, there a lot of differences between two countries. For example, their clinical training starts from the middle of 4th grade, which means a year earlier than ours. Instead, they spend less time on studying medicine (both basic and clinical). The first year of the clinical training is case-based treatment and students deal with relatively simple cases. After that, they move on to comprehensive treatment, which is same to the clinical training in TMDU, from the second year. The pros of this two-year clinical training program is that students can learn mutually. For example, when a senior student deal with complicated procedure such as impacted wisdom tooth extraction, a junior student assist him/her. In addition, there were also a peer-learning system among the students such as study groups and mentoring. I felt good relationships between students by how they communicate each other. However, they have some problem which we don't have. It is allowed to take lab work home, which means students spend almost all night finishing lab works and won't be able to concentrate on lectures in the daytime. Students are idealists and they tend to try to make better results than that of others, so there is only endless goal.

As for healthcare system, the universal healthcare coverage program was established recently. It covers basic care for universal price in public hospital. The concept is ideal, however, they are facing with a problem that patients rushed into public hospital and there are not enough time and workforce. The government is trying to improve the system, so I look forward to find out how they revise. Interestingly, they already launched a program for dealing with an aging society. For example, educational program and dental contests for raise awareness on self-care and management. I was especially impressed with re-educating program, since it is a good chance for elderly people to get the right information. There are so many unreliable information spread among people, and those people with low information literacy are likely to believe them. Sharing and updating knowledges would be vital for elderly people to have a better way

of life.

In addition to dentistry, we went through a lot of activities to learn Thai culture. We visited cultural and historical places in Bangkok and surrounded areas with friends in Srinakarinwirot university. I was impressed by the students, who explained the cultural backgrounds of the temples. I don't think I will be able to talk deeply about Japanese culture. She said that it is because she was interested in those stories since her childhood, and she is often a guide for international friends. I felt that I want to have something that I can talk deeply about our society. I also very surprised to see the popularity on royal family among Thai people. There were many elaborate monuments to show sorrow and respects on the former king. Though, how deep people respect the royals seemed to vary in the individual level. Since Thai is now facing to the problem of wide financial disparity among the people, I felt that how the government and royals deal with it would be the key of the future of their society.

Masahiro HAKARIYA (D4)

This exchange program is the second time for me. Last year, when I participated in this program, I had learned English for six months. However, I kept learning English for one year and a half to join this program. Because of many experiences and learning English, for example the Global retreat in October and BRIDgE course, I could feel improvement of my English skill. The listening skill that I set as my issue could be improved in particular. So I seldom felt trouble about listening during my stay in Thailand. I will keep learning English not to degrade my English skill.

To top it off, because of improvement of my English skill, I well understood the lectures and explanation by our teachers. That's why I could get much information about Thailand. In terms of dentistry, TMDU dental hospital have many elderly patients, on the contrary SWU dental hospital have many younger patients than TMDU. I guess that dental hospital in Thailand may have possibility that some departments will be better than Japan because the generation of main patients is different from Japan.

I was also interesting about the public health in Thailand. The population pyramid in Thailand shows a beginning of the aging society with fewer children like Japan. If this problem can not be solved, Thailand may be suffered from many problems that like Japan have. In addition, the problem of air pollution might be caused by the rapid development in main cities, for example Bangkok. I felt that Thailand is in the situation like old Japan because of those problems I listed before. Other problems for example tobacco and alcohol, are increasing. The regulations of tobacco and alcohol in

Thailand are stricter than those in Japan. People can not smoke a cigarette in any places and the time when people can buy the alcohol is regulated. Furthermore, there is the mosaic in the scene of smoking and drinking when the movies or cartoons are broadcasted. But now, young people can easily get the information about smoking and drinking which are regulated in TV with the improvement of internet. The problems that could not be helped by the present row are increasing. SWU have a great promotion about no smoking to teach young people how to decline smoking as one of the projects of SWU. I was very interested in this project that the university initiatively hold.

Because almost all the dental universities are government school, there is a system that dental graduated students have to work in countryside where lack of dentists to contribute to the country for three years. I think that this system had better be adopted in Japan. In this way, thanks to learning about different culture, education and society, I can compare the situation in Japan and that in Thailand. So I was able to get more knowledge and sight. In this program, I gained great experiences, for example improvement of English skill and recognition about Japan, that bring more value to my dentist life. I must not forget these experiences and I have to make experiences be tips of my life. Also I feel that these great sight and experiences may bring many possibilities to me. I appreciate to my teachers who gave me this wonderful opportunity. Thank you very much.

4. 研修風景 Pictures

































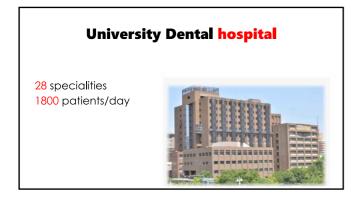
- 5. 発表スライド Slides
- 1) Presentation: Studying Dentistry in TMDU: Dental students'lives



About TMDU









TMDU

2 Faculties

Faculty of Medicine

School of Medicine
School of Health Care Sciences



Faculty of Dentistry

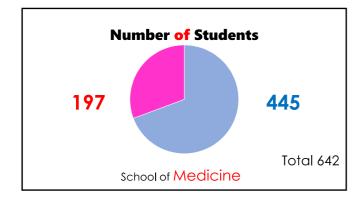
School of Dentistry
School of Oral Health Care Sciences

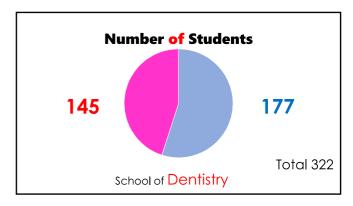


Undergraduate Students

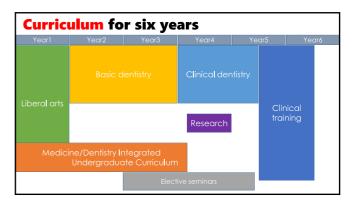
280 students/year Dental school: 50/year

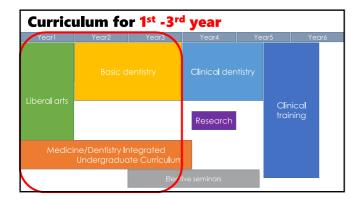








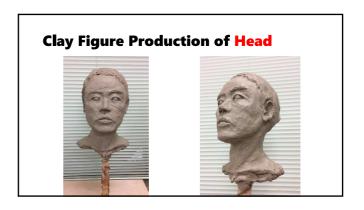




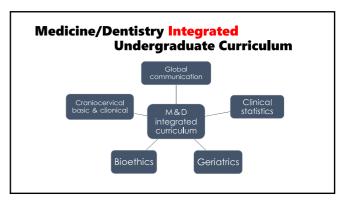
Curriculums for 1st - 3rd year

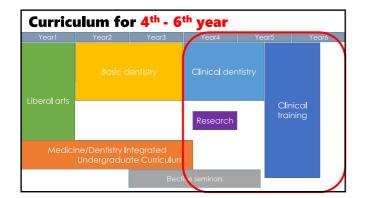
- 1st year ••• liberal arts ex) physics, math, chemistry, philosophy
- 2nd year ••• basic medicine, liberal arts, basic dentistry ex) anatomy, histology, dental anatomy, artistic anatomy
- 3rd year ••• dentistry, medicine ex) preventive dentistry, oral radiology, pathology



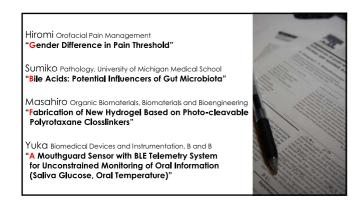


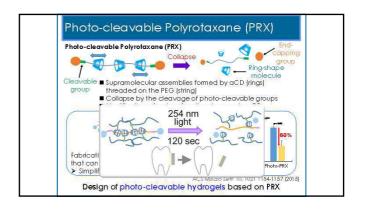


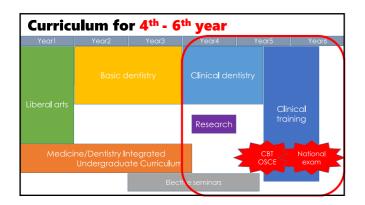






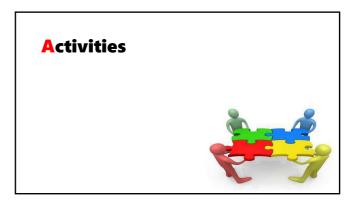


























2) 研修報告会スライド Slides

タイ・シーナカリンウィ ロート大学 歯科研修プログラム

2017.3.11 ~ 2017.3.19

概要

・目的 タイの歯科医療・教育の理解 英語によるコミュニケーション能力の向上 タイの歴史、文化、習慣等の理解

・スケジュール 約一週間 3.11~3.19 平日の日中 見学、授業など 平日放課後、週末 観光など





































研修プログラム 利点

- 金銭面 往復航空券支給 + **7**万円支給 → **黒字**
- ・語学力・知識に関して BRIDgE(派遣前研修) みんなで行けば怖くない
- ・研修先大学の学生 色々と案内してもらえた 安心

研修を経て 良かったこと

- 臨床科目学習の意欲が上がった
- 海外大学の雰囲気を知れた、興味が増した
- 英語を実際に使う機会になった
- 実際に見てこそ、分かるものがあった